

令和4年度第1回日進市総合戦略推進委員会 議事録

日 時 令和4年8月1日（月） 午前10時から午前11時40分まで

場 所 日進市役所本庁舎4階 第1会議室

出 席 者 高木伸治、水嶋義弘、市川耕一、亀倉正彦、松本崇平、三隅晋吾、久田孝志、堀修、小金澤衣里（敬称略）

欠 席 者 鵜飼宏成（敬称略）

事 務 局 萩野一志（総合政策部長）、岩瀬雅哉（同部調整監）、小出誠二（同部次長兼企画政策課長）、西口和宏（同課課長補佐兼市政戦略係係長）、志水崇法（同課同係主任）、佐藤成俊（同課同係主事）

傍聴の可否 可

傍聴の有無 有（6名）

次 第

- 1 開会
- 2 委嘱書交付
- 3 副市長あいさつ
- 4 自己紹介
- 5 委員長選任・委員長職務代理指名
- 6 諮問
- 7 報告事項
企業版ふるさと納税について
- 8 議題
第2期日進市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る主な事業及び指標の検証について
- 9 その他
- 10 閉会

配 付 資 料

資料1 企業版ふるさと納税について

資料2 第2期日進市まち・ひと・しごと創生推進計画

資料3 第2期日進市まち・ひと・しごと創生総合戦略該当部分抜粋

資料4 第2期日進市まち・ひと・しごと創生総合戦略指標検証表

資料5 第2期日進市まち・ひと・しごと創生総合戦略近隣市町比較表

資料6 第2期日進市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI修正案

資料7 日進市都市計画図

資料8 日進市市制30周年記念事業テーマ募集要項

	1 開会
	2 委嘱書交付
	3 副市長あいさつ
	4 自己紹介

	5 委員長選任、委員長職務代理指名
	(委員の互選により鶴飼委員を委員長に選任、委員長が亀倉委員を委員長職務代理に指名)
	6 諮問
	(副市長から諮問書を手交)
	(傍聴者入室)
	7 報告事項
職 務 代 理	報告事項企業版ふるさと納税について、説明をお願いします。
事 務 局	(資料 1 に基づき説明)
職 務 代 理	ご質問はありませんか。
委 員	(質問なし)
	8 議題
職 務 代 理	議題第 2 期日進市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る主な事業及び指標の検証について、説明をお願いします。
説 明 者	(資料 3、4、5、6、7 に基づき、事務局から説明)
職 務 代 理	ただいまの説明についてご意見、ご質問をお願いします。
委 員	この資料を見て、今までの 2 年間の活動がうまく反映されていると感じました。ただ、KPI の設定に関しては、振り返りのできる指標になっている KPI もあれば、相変わらず自分たちではどうすることもできない KPI の設定もあります。今回の「一人当たりの都市公園面積」という KPI はわかりやすく、自分たちの活動を振り返ることのできる KPI になっていますが、まだそうではないものもあるので、自分たちの活動によって振り返りのできる指標に置き換える必要があります。引き続き、変えられるものは変えていくということをお願いしたいです。もう一点、社会は大きく変化しており、特にコロナ禍において生活のパターンが変わりつつあります。例えばヤングケアラーの問題や子どもの貧困の問題に対して、杓子定規ではなく、時代に合わせて方向転換し、活動を変えてもいいのではないかと思います。「いつまでも日進に」というキャッチコピーを大切にしてほしいと思います。個人的な意見ですが、全員を幸福にするのは難しいですが、不幸な人間をつくらないという視点を持つことで活動の方向性は変わらと思うので、時代に合わせて活動してほしいです。それともう一点、高齢者は単純に長生きしたいというより、日々元気に過ごすことができればいいと思っています。これは自分もそのような年齢になり、感じたことです。こちらも時代に合わせ、「いつまでも元気に」というような便利な言葉に頼らず、表現を変えていく努力をするようにお願いしたいです。
職 務 代 理	元気で活躍されていく方が増えることは非常に大事なことだと思います。今回の KPI で振り返りのできない点はどのようなところでしょうか。
委 員	今回の KPI は問題ないです。過去に設定された指標で市民意識調査の結果

	<p>だけを反映しているような指標がまだありますので、その点を改善してほしいです。民間企業の株主総会の資料を見ると、KPI はその会社のマネジメント能力を表しています。分析や対策検討をどこまでしているかについては、KPI を見れば自ずとわかります。その点で日進市の KPI を見ると、日進市のレベルはこの程度かと、それなりに経験のある方が見るとわかってしまいます。ある意味、KPI は手段であると言えます。そういう意味では、過去に設定した指標を変えていく必要があるということです。</p>
職 務 代 理	<p>ありがとうございます。今回の会議の主題となる KPI をどのように設定するか、どのように検証するかという方法論の確認が大事だということを踏まえると、重要なご指摘だったと思います。この話を受け、事務局の方から何かありますか。</p>
事 務 局	<p>時代に合わせて色々見直しを掛けてほしいというお言葉がありましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大から社会自体が大きく変化する時代になったということで、行政を従来通り単純に前例踏襲主義でやっていくと、色々な弊害が出ていくだろうと予想しています。しかし、これまで作った計画がそれで無しにしていけないかと言うと、そういうわけではないので、直すべきものは直し、残すべきものは残し、精査しながら進めていきたいと考えています。計画にない取り組みにおいても、これから進めていき、生活の内容等の方向性を若干修正することも起こりうると考えています。ただ、そこでなぜそのような修正を行ったのかという考えを検証し、よりよい形になっていけばいいと思っています。当初作成した計画通りに進めればいいという考え方ではなく、社会の変化に対応していきたいと考えていますので、何かご意見をいただけたら検討していきたいと思っています。KPI につきましても、担当部署と協議をしながら変えられるところは変えていきたいと考えております。また、健康寿命を長くするような取組についても考えていきたいと思っております。</p>
委 員	<p>この活動による市の財政や経済効果を提示されるとこの場では議論がしやすいと思います。例えばこの活動によって、医療費の削減や税収の減少が見込まれるというような資料があると議論がしやすくなり、結果の評価ができると思います。</p>
職 務 代 理	<p>健康寿命を伸ばすための取組によって想定される社会福祉関連のコストを大きな数値として追っていく価値はあると思います。この数値が他自治体に比べて高齢化率が高いが、比率として見るとさほどコストが掛かっていないという検証や、高齢者の健康寿命を更に伸ばす施策に使うこともできます。</p> <p>私から質問です。観光に関する施策が施策 3 及び施策 4 に見受けられますが、これらの違いと関連について事務局から説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>施策 3 は地域活性化の拠点整備ということで、観光のみでなく、企業誘致等によって魅力ある拠点を整備し、地域を活性化させるイメージで策定しております。施策 4 は観光事業者が来ることによって日進市に観光スポットが</p>

	増え、人を集めるといった観点での魅力向上という考え方です。
職 務 代 理	<p>「観光」が施策3、4に出てくることは非常に重要なことだと考えております。施策4は災害や緑、防犯等を含めてという意味だと思いますが、例えばクリーンエネルギーの推進で、特に自然と人が共存しているということは日進市の最も重要なキーワードの一つだと思っています。日進市の東西を天白川が流れており、市の中央で天白川と岩崎川で分かれている、その中央部分に農業の拠点があると認識しています。そのようなことも含め、時代の変化ということでも千載一遇のチャンスだと感じています。その一つはジブリパークの開園。人間と自然が共存していくというテーマになりますので、自然にあふれた日進市は一つのチャンスになるのではないかと考えています。また、クリーンエネルギーについても、一つの提案として聞いていただきたいのですが、持続可能なまちづくりという部分が推進されると、それも一つの観光につながっていきますし、市外からの交流人口をおもてなしする、おもてなし人材の育成という取組も愛知学院大学で行われていました。これらは施策4に関わると考えています。日進市全体が市民にとっても、SDGsの視点でもプラスになるような事業を推進すると施策3に跳ね返ってくるように思います。施策3というのは観光交流拠点を整備し、コンテンツの開発を商工会で進めているものだと認識しておりますので、市民にとって住みよい地域にすることが結果的に観光につながっていきます。他方、産業振興を含めて、観光そのもの自体を考えていくことも重要です。内側と外側を見る視点で切り分け、日進がこれから進む方向を市としてイニシアティブをとり、市民に対して提案していくことを前面に出していただきたいと思っています。</p>
委 員	<p>前回までの会議の中でもジブリパーク開園が日進市にとってチャンスだと聞いていますが、その後、市として取り組んでいることはありますか。</p>
事 務 局	<p>ジブリパーク開園に伴い、グリーンロード周辺地域の交通網において渋滞の発生を想定しておりますので、渋滞対策に向けた検討をしております。また、観光施策においても、市外からの観光客に向け、例えば竹の山地区などの若者が集まるような飲食店において、ジブリパークからの帰りに立ち寄っていただき、日進市を知ってもらうような対策を検討しています。また、ジブリパークのみに限らず、NHK大河ドラマの「どうする家康」の放映も予定されており、日進市にとってチャンスであると考えておりますので、今後も引き続き検討していきたいと考えております。</p>
職 務 代 理	<p>ジブリパークを目的として来訪された方が目的を終えてすぐに帰ってしまわないように、周遊観光として日進市に呼び込む策を考えると感じました。また、指標においても必要に応じて、長期的な目線で日進市の大きな発展の中から指標の見直しや改良改善の必要があるのかもしれない</p>
委 員	<p>市の方でも検討されていると思いますが、市民のセーフティネットを整備してほしいです。例えば独居老人のサポートなど、事前に情報をキャッチし、</p>

	<p>対応できないでしょうか。隣に住んでいる独居老人が熱中症で倒れていたことがありました。毎日交流があったため、すぐに気付くことができましたが、市の方で何か対策できないものでしょうか。老人クラブでは限界があります。また、こども食堂も同様の問題を抱えています。家庭の事情も含め、事前に情報を得るような施策を考えてほしいです。個人情報の問題もあり、難しい部分もあるかと思いますが、市の方で対策できないかという個人的な要望です。</p>
事務局	<p>福祉部局で把握するデータを一元管理していきたいと考えております。福祉部局には介護、年金、生活保護など様々な部署がありますが、これらを一元化することにより、どのような市民がどこに住んでいるのかを理解した上で施策を進めていく必要があると考えています。</p>
委員	<p>情報共有で終わるのではなく、横断的な運用をお願いしたいです。</p>
事務局	<p>組織体制としてはまだそこまで至ってはいませんが、地域共生社会の専門的な相談支援への体制とコミュニティネットワークをいかに繋ぎ、地域で困難を抱えている方に対して、専門の相談体制をいかにしてアクセスできるような体制を組んでいくかということが求められています。日進市においてもそのような体制に順次ステップアップしていく予定であり、担当部署でも検討してもらっているところです。今までの体制では部署間で情報共有をしてはいるが、特定の担当者が対応するような体制であったため、一部の方しか対応できない場合があります。現段階では具体的な方向性や体制をお答えすることは難しいですが、行政サービスを必要としている方にサービスがいきわたるように、行政組織自体を変えていく必要があると思っております。</p>
職務代理	<p>ありがとうございます。非常に大事なお話だったと思います。今回の基本目標 4 において、高齢者の独居老人の問題は防犯に関係し、こども食堂の部分ではこどもを含めた、住みよいまちづくりに関係する非常に大事な観点であると思います。コミュニティという市民と市民のネットワークの話がありましたが、現時点では数値目標や KPI に反映されていないことが確認できました。先ほどの話は今回の KPI の「住まいの周辺の居住環境に魅力を感じている市民の割合」に含まれる可能性があると思います。昨年の議論の中で出てきた総合指標というキーワードがあったかと思いますが、この KPI をどのように構成させるのか、例えば総合指標として「住まいの周辺の居住環境に魅力を感じている市民の割合」の副次的な指標の一つとして先ほどの話を組み込んでいくと、より多くの市民の声が含まれ、日々改善され、定期的に検証する機会ができると思います。今の段階で指標に反映されていることが大事というよりは、今回の指標では反映しきれていないところがあり、次の改善作業で検討する素材ができたことが重要です。本委員会の「指標の検証」の主旨にあたります。</p>
委員	<p>資料 6 の追加 KPI 案は非常にわかりやすいためいい案だと思います。ただ、日進市の今の状況を鑑みると、グリーンに関してはもっと PR するべきものが</p>

	<p>あるのではないのでしょうか。本郷地区の畑を貸し出して営農を促したり、愛知牧場は観光地として成立しており、都市公園でも子育て世代が公園で遊んでいる姿を見かけます。数字の拾いやすさはあると思いますが、都市公園だけに絞っていいものか、もう少し大きな視点で、背景にコミュニティネットワークやジブリパークがあることを踏まえ、ご検討いただいてもいいと思います。</p>
事務局	<p>本市では2年に1回市民意識調査を行っており、その中で日進市の魅力として緑の豊かさが挙げられています。今回はわかりやすい指標ということでこの案を提示させていただきましたが、日進市の魅力でもある緑の推進については今後も検討していきたいと思います。また、KPIの設定については様々な課題があると思っております。単純に担当部署の持っているデータを指標として拾い上げているケースが多いですが、例えば介護認定を受けている方とそうでない方で介護費用や医療費の差額はどの程度あるかなど、介護支援予防事業を実施するにあたり、介護認定を受ける人が減るとどれほどの介護予防効果や医療費の削減効果があるかという指標づくりを加えていき、人口当たりの結果を公表するような指標づくりをしていく必要があると考えています。単純に増減を見るのではなく、結果を活用する切り口を設定していくことと、眠っているような統計データを活用するなど、一つ一つやれるところから取り組んでいきたいと考えておりますので、このデータは使えるのではないかという意見があれば担当部署と調整しながら取り入れていきたいと思っております。</p>
職務代理	<p>「市民一人当たりの都市公園面積」という指標は単に数字が増えればいい、減るとよくないという数字をみるだけではなく、都市公園が増えるとなんができるのかということを考えると、例えば、ウォーキングができ市民同士のネットワーク形成活動等につながるかもしれません。そのようなことを考えると「市民一人当たりの都市公園面積」というKPI案が悪いというわけではありません。数字だけでは表しきれないところも関わってきます。指標を採用した理由を説明できないと、ほかにもっと良い指標があるのではないかという話になってきます。説明責任を果たす市の努力があると、より多くの市民の意見を取り入れたKPIになっていくと思います。</p>
委員	<p>二点あります。一点目、KPIや数値目標は、結果が表れるのに時間が掛かりますが、市民が満足すればじわじわと上がっていく項目だと思います。そのため、目標として大枠を決めておくことは重要だと思いますが、一番重要なのは資料4にあるそもそもの目標に対して、どのような取り組みを個別にしていくのかという「主な事業」を確実に遂行する必要があると思います。個別の事案が一定期間でどれだけの成果があったのかが目に見えてくると、市民の満足度につながると思うので、全体の目標の裏側にある個別目標を各セクションでスピーディに対応することをより一層実践していただきたいです。二点目は資料5に関して、近隣市町に比べ、初期値が多少低いのでその部分を</p>

	<p>重点的に取り組んでいくことでより一層満足度向上につながると思いますので、ぜひ魅力的な取組を進めていただくようお願いします。</p>
事 務 局	<p>一点目、総合戦略で策定している指標につきましては、毎年進捗管理をしております。しかし、それだけでは各事業の評価ができないので、所管課が計画する３年間の実施計画を提出してもらい、それぞれ予算を配分します。予算を付けた事業に対しては、毎年事務事業評価を個別事業ごとに実施し、各個別事業に関して進捗管理や効果検証をしております。今まではこのようなやり方で進めておりますが、DXの推進も含め、取組の方法について検討をしていく必要があると思っております。二点目、参考として近隣市町事例を掲載しておりますが、この資料のみではなく、日進市を魅力のあるまちにするために、どうしていくべきかを全体的に考えながら事業を進めていければと考えています。</p>
職 務 代 理	<p>毎年の進捗管理の中で、数値がどう変わったのかを精査し、事業がどこまでできたのか、できていないのかを把握することが重要です。必要に応じて目標を見直していく必要もあります。また、スピード感を持って取り組むことは重要です。例えば、今年は結果が出ませんでした。しかし、いずれ到達するので問題ありませんという説明がすべての世界で受け入れられるとは限らないです。ビジネスの世界では短期的に実績を出さないとそのビジネス自体が頓挫することもあります。短期の中でも実績を残すことは大事です。</p>
委 員	<p>高齢者の話や災害、防犯など色々な話がありましたが、各種団体と協議しながら事業を進めていくことが大切です。新型コロナウイルスの影響で医療関係者は苦しんでいます。今後第８波、第９波と感染者が増える可能性もありますし、さらに災害が重なった場合、医療関係者と消防防災はどのような体制で乗り越えるのか。また、日進市の道の駅では日本で最新鋭の防災拠点となります。今後、日進市の安心安全をどのように進めていくのか。商工会の視点から言うと、企業がそういった情報を行政からもらえば銀行が資金を貸す意欲が増し、新規事業の着手につながります。このように社会のサイクルが繋がらないと企業が疲弊してしまいます。例えば防犯カメラ設置に補助金を出すような事業があったとして、実際に犯罪件数が減少し、目に見える効果があれば先進的なモデルとなることも考えられるので、積極的に情報発信していただきたいと思います。また、コロナ禍ではありますが、夢まつりに向け、感染対策を講じて行政、商工会と一体となって進めております。夢まつりの開催に向けて市民にも協力してもらう必要があります。行政、各種団体、市民がイベントなどを通して喜びを分かち合えるといいと思います。観光については、ジブリパークの開園も絡んでくるので、くるりんばすを共有しながら乗り入れができるいいと思いますが、コースの改変は５年に１回と聞いております。総合計画は１０年計画となりますので５年目が終わり、環境が変わったときに数値目標を変えながら、近隣市町の状況が変わったときに修正できるような</p>

	<p>体制になるといいと思います。最後に、富山市が JR 東日本から廃線を提案されていると朝のニュースで見ました。富山市はコンパクト経営ということで人が集まる場所から資金を確保し、危うい場所に資金を充てるとのことです。厳しい状況の中でも様々なアイデアを出して危機を乗り切っています。日進市でもそのような話題やチャンスがあると思いますので、関係機関と情報共有しながらいい方向に進めていただければと思っています。</p>
委 員	<p>日進市も高齢者がこれから増えてきます。仕事の中で高齢者支援ということとたすけあい組織の取組を他市町村で立ち上げています。行政にはたすけあいの組織があると聞こえてはきますが、たすけあい組織を施策として入れながら、高齢者の生きがいとなる場をつくり、高齢者の移動手段をつくることによって、健康で楽しく過ごしていただく環境を作ると高齢者の医療費にも跳ね返ってくるのではないかと思います。そのようなことも連動させて KPI に設定できると、見える数字で表れるかはわかりませんが、住みやすいまちにするためには高齢者支援が必要だと思っています。また、こども食堂についても同様で、目に見えないようなことを施策として取り組んでいただき、数値目標として設定することで住みやすいまちを PR できると 생각합니다。KPI の設定は難しいですが、少しでも取組が数値として表れ、市民の方が住みやすいまちだと感じてもらえる指標になるといいと思います。</p>
委 員	<p>KPI につながる話であるかはわかりませんが、企業誘致や観光などの話がありましたが、現時点で市が抱えている問題として、慢性的な渋滞に加えて災害があったときに住まい周辺の居住環境の魅力や満足度が下がる可能性があります。それらに向けた対策や計画があれば取り入れていただきたいです。道の狭さや豊田市と名古屋市の抜け道として使われることもありますので、何か対策ができればお願いします。</p>
委 員	<p>地上デジタル放送で「安心安全 123 チャンネル」という番組を 24 時間 365 日防災防犯に関する情報を放送しており、ライブカメラ 200 箇所のリアルタイム映像を観ることができます。ライブカメラは道路の交差点やアンダーパス、河川の増水状況を確認できます。アプリからも見ることができます。我々インフラ事業者としては、これにとどまらず、地域の皆様に必要な情報をお届けしていければと考えておりますので、ぜひ利活用できるアイデア等ありましたら教えていただけると幸いです。</p>
職 務 代 理	<p>貴重なご意見ありがとうございました。本日の議題につきましては以上となります。</p>
	<p>9 その他</p>
事 務 局	<p>資料 8 に基づき説明</p>
	<p>10 閉会</p>